

令和2年度 第2回 市政モニターアンケート
仙台市の図書館に関するアンケート調査 報告書

令和2年10月

仙台市教育局市民図書館

1 調査の目的

市民の図書館利用状況や、図書館に期待することなどについて把握し、今後の図書館運営に生かすためアンケート調査を実施。

2 調査対象

令和2年度仙台市市政モニター（200名）

3 調査実施時期

令和2年8月7日（金）から令和2年8月20日（木）まで

4 調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

5 回収結果

（1）有効回答票 189

（2）回答率 94.5%

6 集計結果の留意事項

（1）複数の選択肢を選択する問の回答割合は、設問項目毎の回答数を、有効回答者数（n）で除したものとしています。

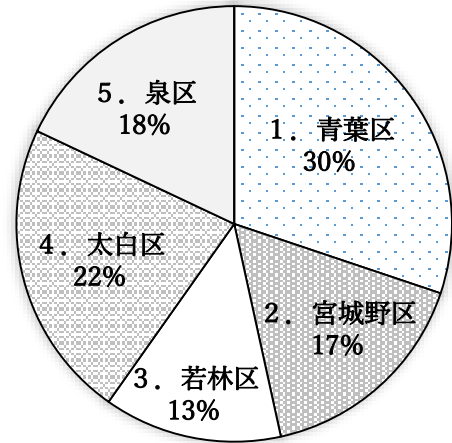
（2）自由記述については、大変多くのご意見をいただいたことから、一部の記述を省略・割愛して記載いたしました。

7 調査結果

問1 あなた自身についてお伺いします。

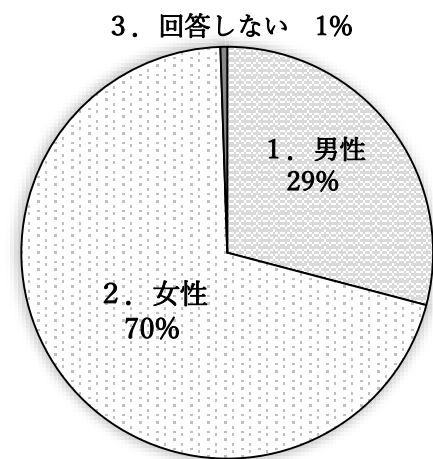
(1) お住まいはどちらですか。(n=189)

選択肢	回答数	割合
1. 青葉区	57	30%
2. 宮城野区	31	17%
3. 若林区	25	13%
4. 太白区	42	22%
5. 泉区	34	18%
6. 仙台市外	0	0%
計	189	100%



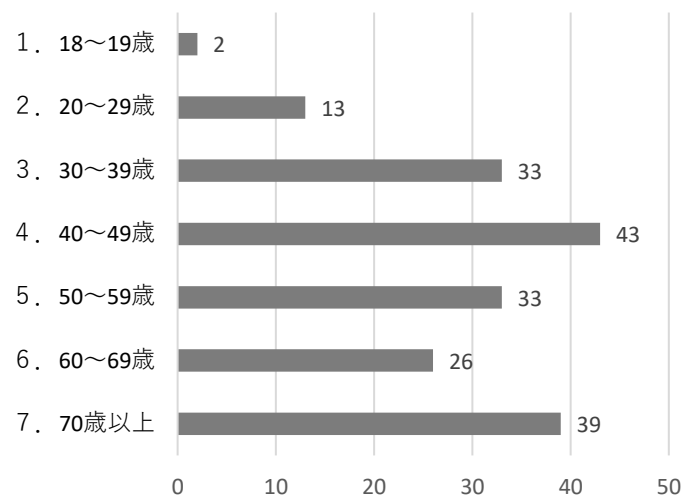
(2) 性別について (n=189)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	55	29%
2. 女性	133	70%
3. 回答しない	1	1%
計	189	100%



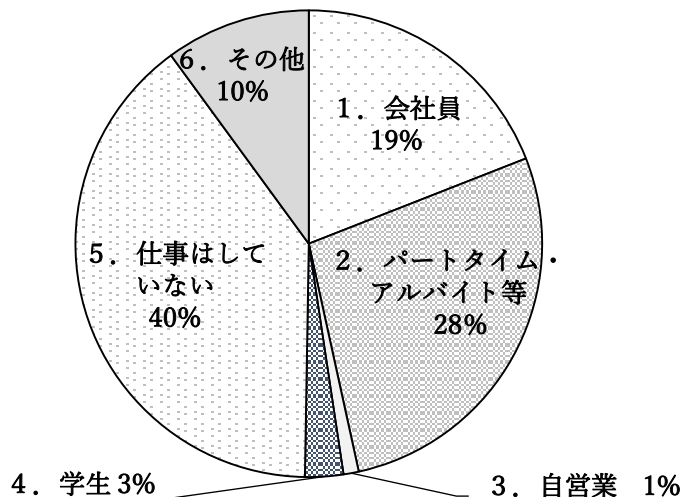
(3) 年代について (n=189)

選択肢	回答数	割合
1. 18~19歳	2	1%
2. 20~29歳	13	7%
3. 30~39歳	33	17%
4. 40~49歳	43	23%
5. 50~59歳	33	17%
6. 60~69歳	26	14%
7. 70歳以上	39	21%
計	189	100%



(4) 職業について (n=189)

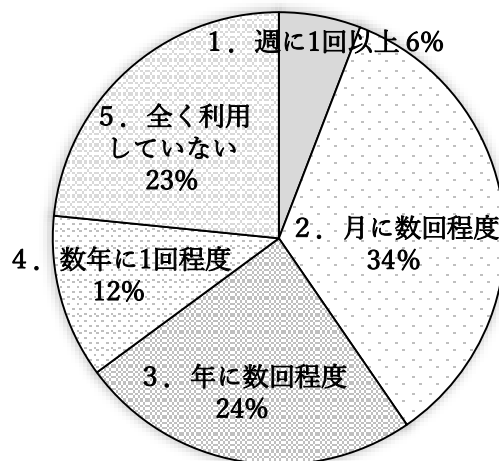
選択肢	回答数	割合
1. 会社員	36	19%
2. パートタイム・アルバイト等	52	28%
3. 自営業	2	1%
4. 学生	5	3%
5. 仕事はしていない	75	40%
6. その他	19	10%
計	189	100%



問2 図書館の利用状況についてお伺いします。どのくらい仙台市図書館を利用していますか。

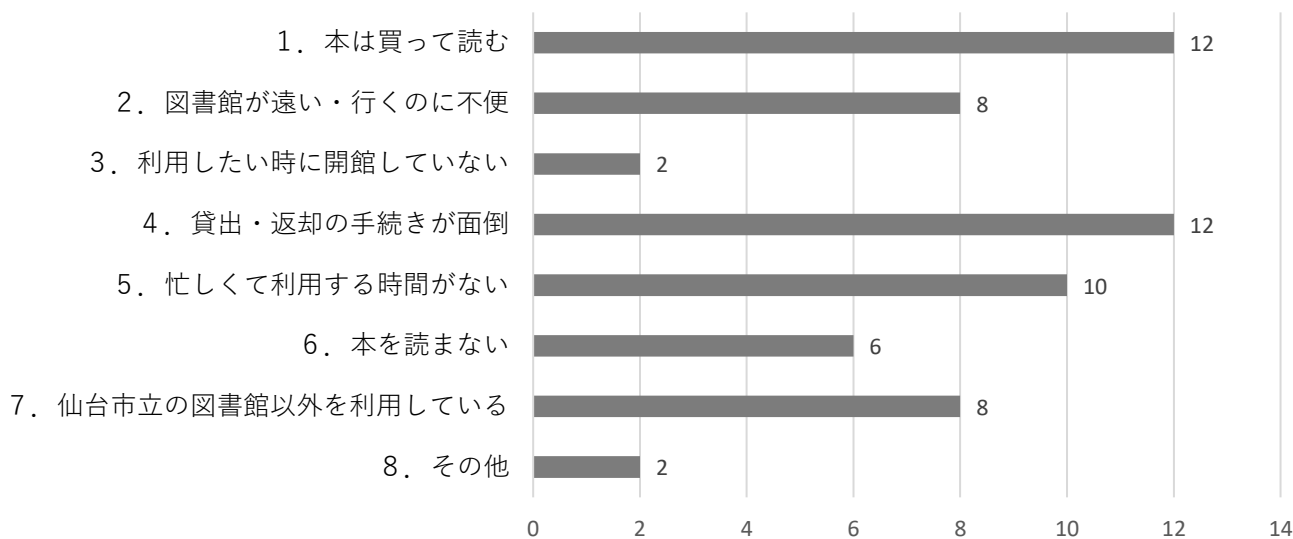
(☑は1つ) (n=188)

選択肢	回答数	割合
1. 週に1回以上	11	6%
2. 月に数回程度	65	34%
3. 年に数回程度	46	24%
4. 数年に1回程度	22	12%
5. 全く利用していない	44	23%
計	188	99%



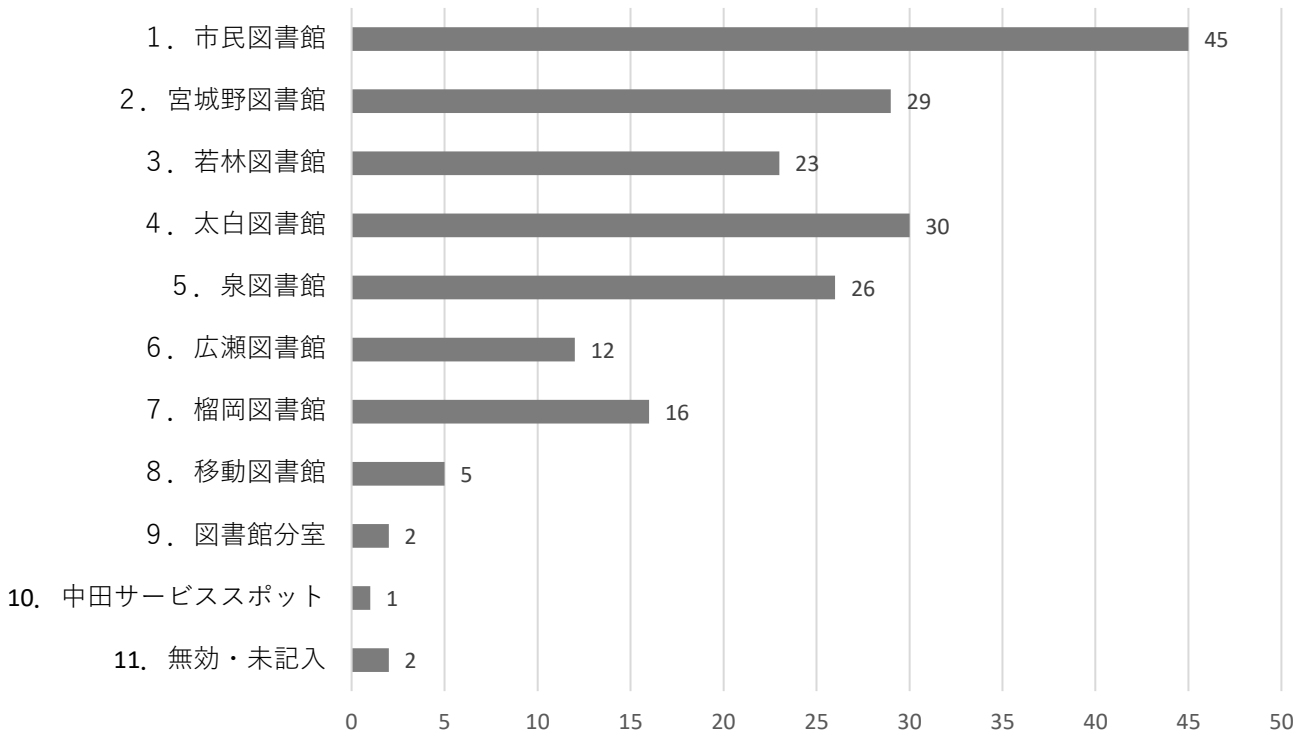
<問2で「5 全く利用していない」と答えた方にお伺いします。>

問3 利用していない主な理由は何ですか。(☑は2つまで)

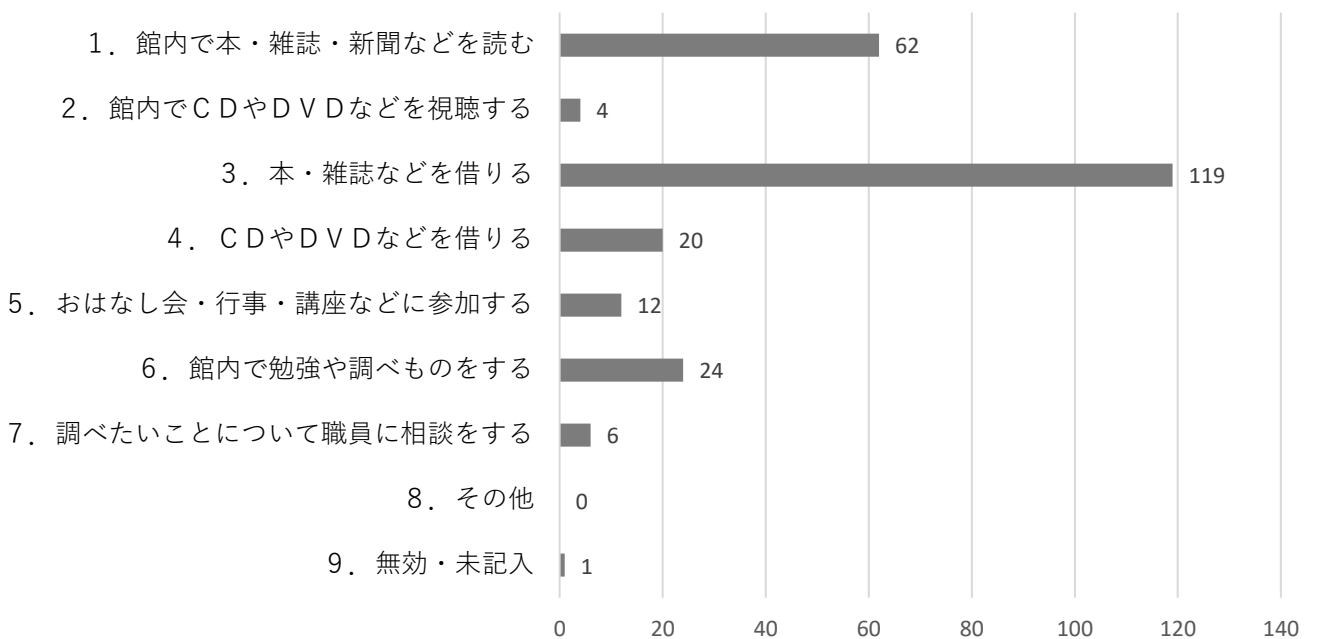


<問2で 1から4に☑をつけた方にお伺いします。>

問4 主に利用する図書館をお選びください。(☑は2つまで)

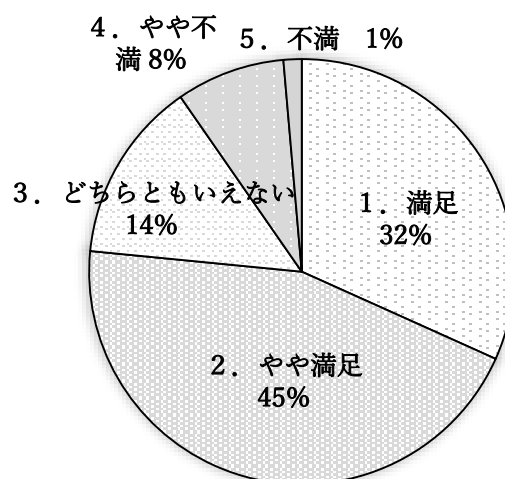


問5 主にどのような目的で利用していますか。(☑は3つまで)



問 6-1 あなたは図書館のサービスに満足していますか。(☑は1つ) (n=145)

選択肢	回答数	割合
1. 満足	46	32%
2. やや満足	65	45%
3. どちらともいえない	20	14%
4. やや不満	12	8%
5. 不満	2	1%
計	145	100%



問 6-2 問 6-1 のように感じる理由は何ですか。

○満足・やや満足

・仙台市内のどの図書館にも返却できる。 ・本の量が充実している。 ・近くに図書館がないため、移動図書館は、私や子ども達にとって大変ありがたい存在だ。 ・貸出数・貸出期間ともに満足。 ・市民に向けてのサービスとして十分だ。 ・読みたい本が揃っている。 ・きれいな状態の本が多く、気持ちよく借りられる。 ・職員の対応が丁寧でよい。 ・特に子どもと一緒にゆっくり選べないため、インターネットの予約サービスは非常に助かっている。 ・書店が少なくなり、廃刊になるまでの時間が早くなり、一度手放すと手に入らないことが多くなったと感じており、図書館で読めるのはありがたい。 ・相談すると、資料の提案や、別の図書館が所有しているとアドバイスをくれるので助かる。 ・高齢者が安心して、本の出版元など不明な点を相談できる。 ・過ごしやすい空間だ。 ・担当者の資料検索力が高い。 ・図書検索システムで他の図書館の蔵書を借りることができる。 ・主に大学のレポート提出のための参考資料を借りている。 ・人気のある本はなかなか借りられず数年待ちになることがある。 ・もっと座る席があればよい。 ・新規購入図書が少ない。 ・食事できる飲食コーナー（喫茶店等）を施設設備として設けてほしい。 ・本を大事に扱えない人がいるので、返却の時のチェックを厳しくしてほしい。 ・受付が事務的だ。 ・スーパーなどに返却ボックスがあると便利。 ・どのようなコロナ対策をしているか分からず心配。 ・移動図書館の駐車時間をもう少し長くしてほしい。 ・新しい CD・DVD がない。 ・駐車場が有料だから。 ・予約しないと、新刊がまず借りられない。 ・館内は本を読むことに機能的にできていない。 ・開館時間を 19:30 頃までにしてほしい。 ・子ども向けのおはなし会があるのが魅力的。 ・無料駐車時間（30 分）を 60 分にしてほしい。 ・学習に役立つ書籍が豊富にあり、アクセスも良い。 ・家から少し遠い。 ・予約の取り置き期間が短いのではないかと。 ・図書の検索機（検索機能）が使いにくい。 ・月曜日も開館して欲しい。 ・閉館時間が早い。 ・土日祝の閉館時間を延長してほしい。 ・ただ本が並べられてあるだけで面白みがない。

○どちらともいえない

・現在の職場と住まいの近くに図書館がない。 ・家の近くの図書館にはあまり読みたい本がない。 ・テーブルやソファを我が者顔で使用し、寝ている人がいる。 ・事務的で相談する雰囲気ではない。

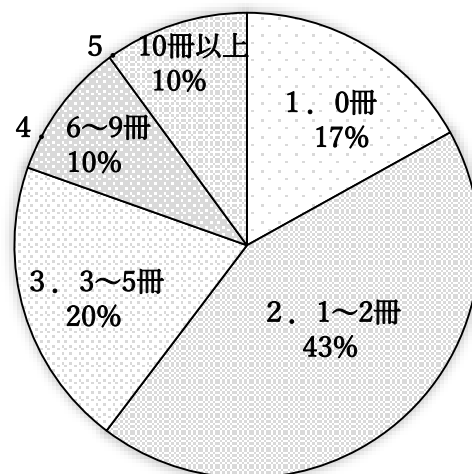
○やや不満・不満

・専門書が少ない。 ・図書館内部が暗い。 ・本の拡大器をもっと充実してほしい。 ・移動図書館にも新しい本を置いてほしい。 ・高齢の方が長い時間居眠りをしている。 ・予約しても借りるまでに時間がかかる。 ・勉強するスペースがない。 ・カードの更新手続きのため、窓口に行かなくてはならない。 ・図書館の椅子と机を自分の席のようにキープして使用している人がいる。 ・多賀城市立図書館の方が近代的で綺麗、飲食もでき楽しめる。 ・読む場所が狭い。

<ここからは、皆さんにお伺いします。>

問7 あなたは1か月の間に何冊ぐらい本を読みますか。(☑は1つ) (n=189)

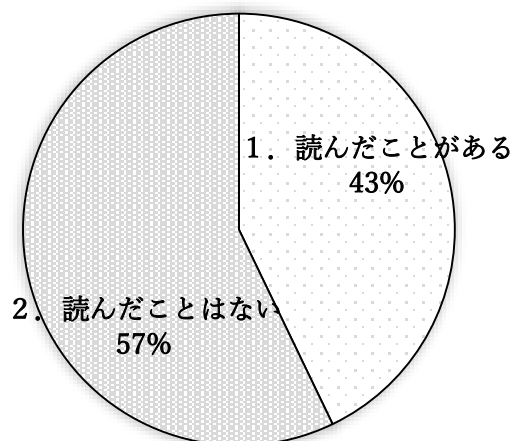
選択肢	回答数	割合
1. 0冊	32	17%
2. 1~2冊	82	43%
3. 3~5冊	38	20%
4. 6~9冊	18	10%
5. 10冊以上	19	10%
計	189	100%



問8-1 あなたは電子書籍を読んだことがありますか。(☑は1つ) (n=189)

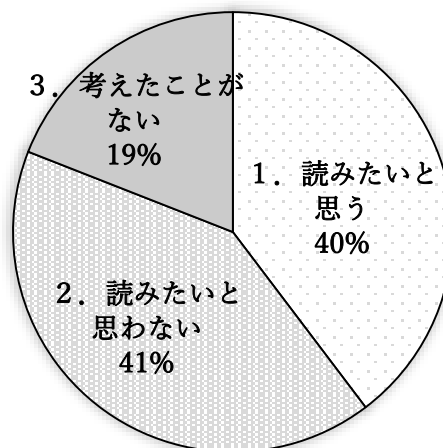
※電子書籍は、パソコンやスマートフォンなどで読むことのできるデジタル化された書籍のことです。

選択肢	回答数	割合
1. 読んだことがある	81	43%
2. 読んだことはない	108	57%
計	189	100%

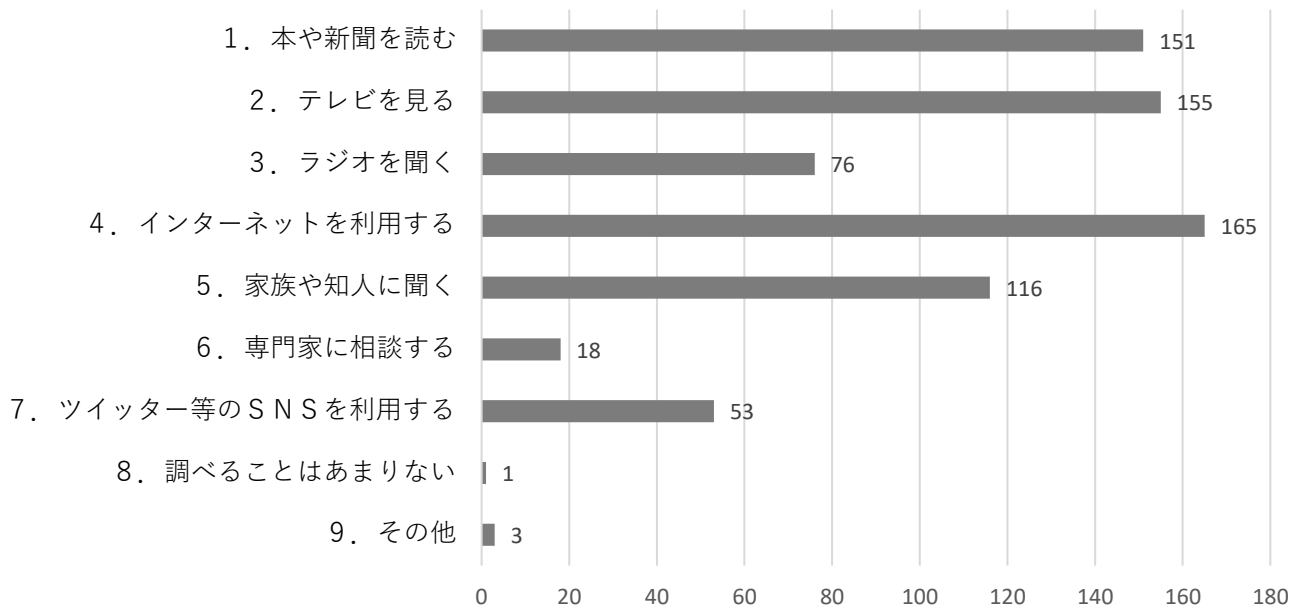


問8-2 あなたは今後、電子書籍を読みたいと思いますか。(☑は1つ) (n=189)

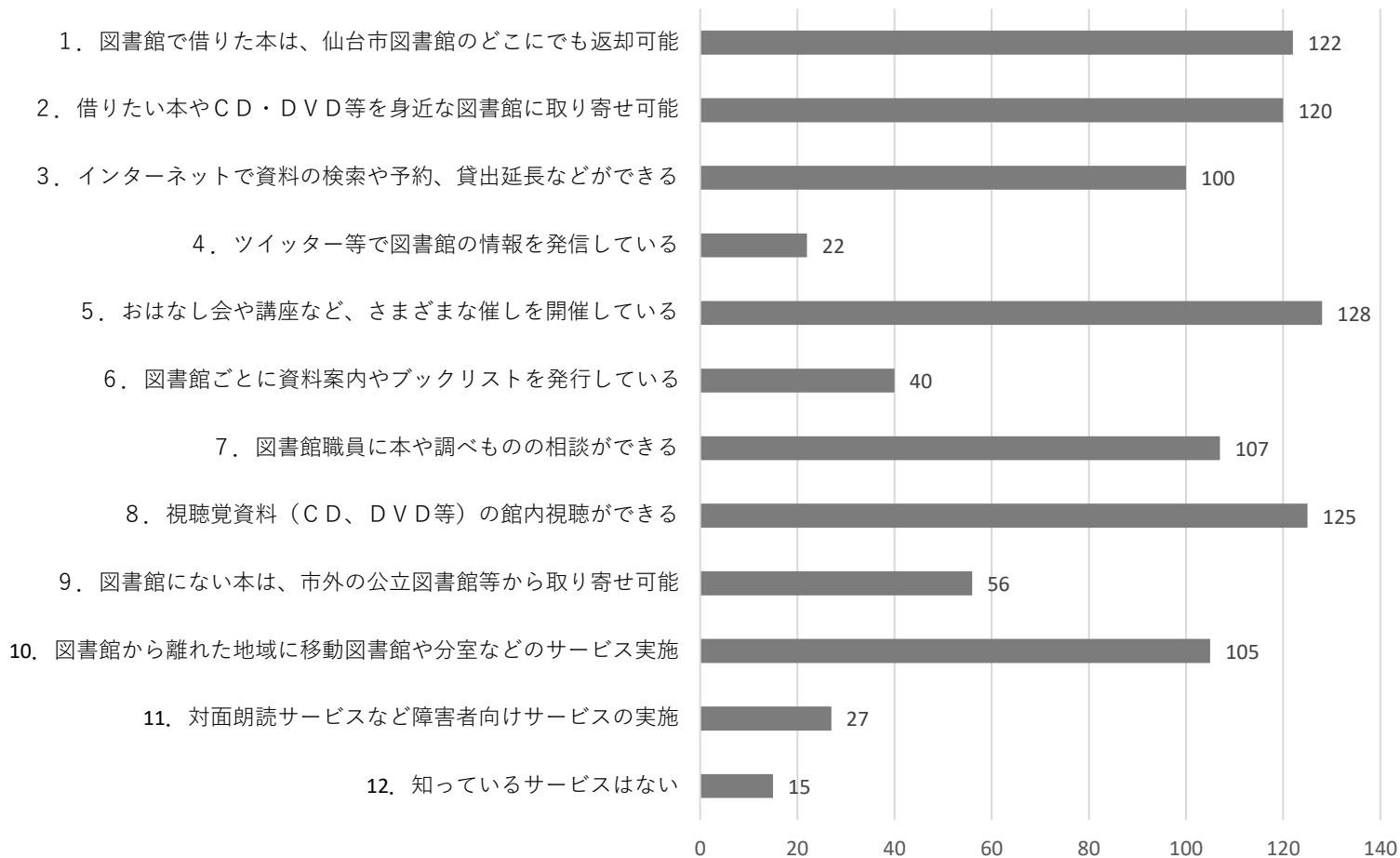
選択肢	回答数	割合
1. 読みたいと思う	75	40%
2. 読みたいと思わない	78	41%
3. 考えたことがない	36	19%
計	189	100%



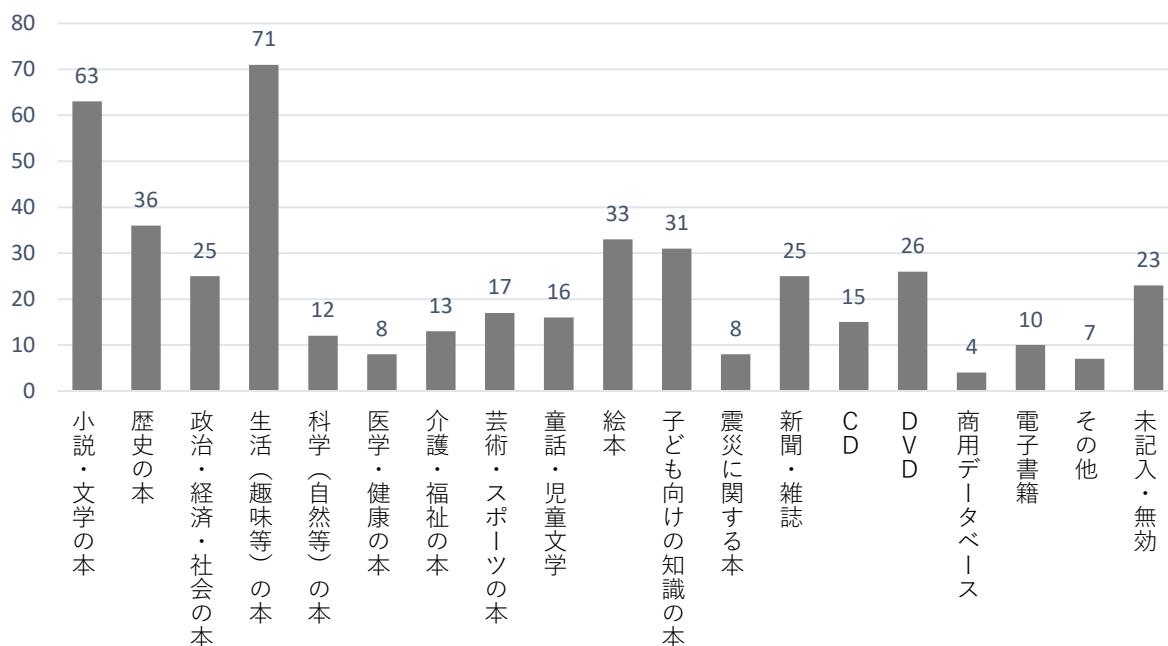
問9 あなたは普段どのように情報を収集しますか。(☑はあてはまるもの全て)



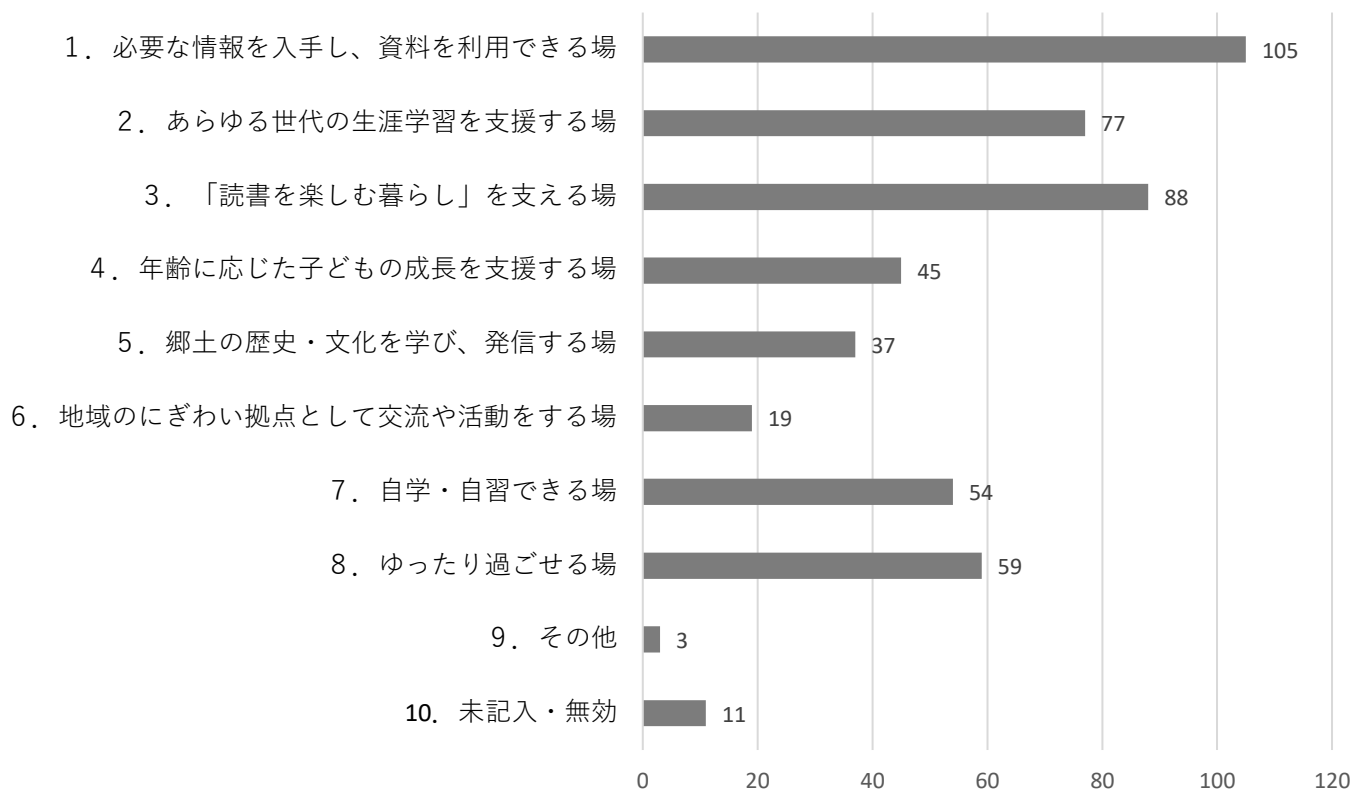
問10 仙台市図書館のサービスで知っているサービスはどれですか。(☑はあてはまるもの全て)



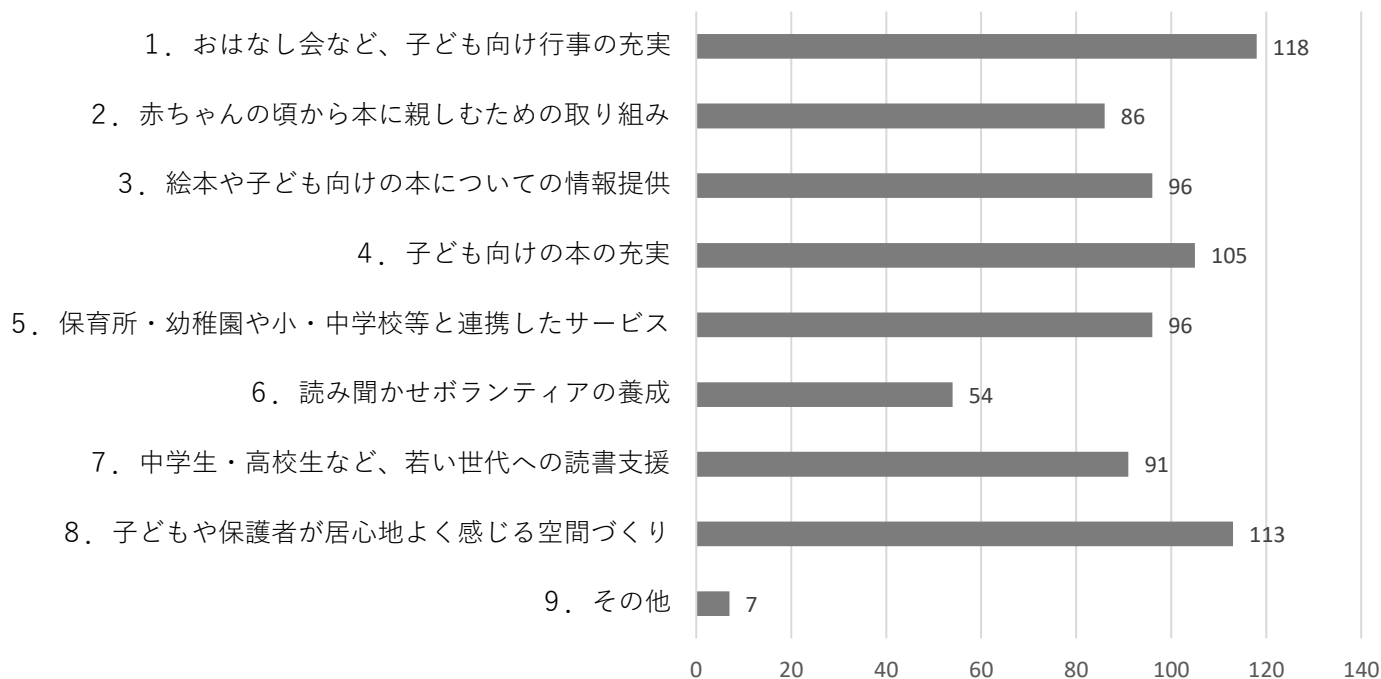
問 11 図書館資料として特に充実を希望するものをお選びください。(☑は3つまで)



問 12 期待する図書館のイメージについて、お選びください。(☑は3つまで)



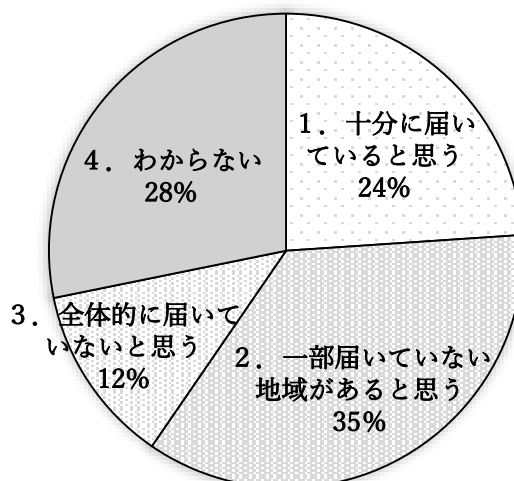
問 13 仙台市図書館では、子どもが0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざして、さまざまな読書支援を行っていますが、読書が好きな子どもを育むために、図書館がどのような役割を担うべきだと思いますか。(☑はあてはまるもの全て)



問 14 仙台市図書館では、より多くの市民の方に図書館サービスを利用いただくため、図書館から離れた地域を対象に、分室や移動図書館、サービススポットの運営を行っています。別紙資料をご覧ください、お考えをお聞かせください。

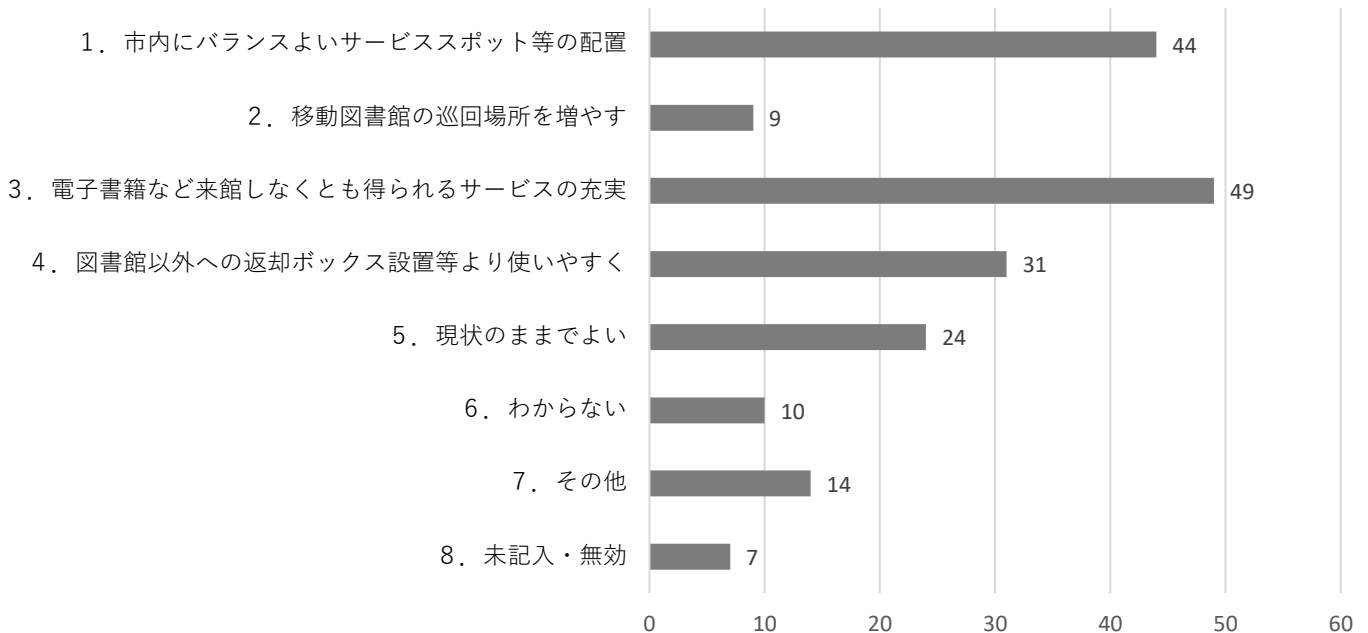
(1) 図書館サービスは市内に十分に届いていると思いますか。(☑は1つ) (n=188)

選択肢	回答数	割合
1. 十分に届いていると思う	45	24%
2. 一部届いていない地域があると思う	67	35%
3. 全体的に届いていないと思う	23	12%
4. わからない	53	28%
計	188	99%



(2) 財源に限りがあり、図書館を増やすことが難しい状況の中で、市内に図書館サービスを行き届かせるため、今後どのように進めていくべきか、最もあてはまるものをお選びください。

(☑は1つ)



問 15 これからの図書館に期待することなど、仙台市図書館についてのご意見をご記入ください。

(開催してほしい催しなどがありましたら、こちらにお書きください。)

【資料について】

●蔵書について

- ・いつも利用させていただき、助かっている。財政的に厳しい面もあると思うが、蔵書を充実してもらえるとうれしい。
- ・新刊本の多くの購入（予算の問題があると思うが）。
- ・雑誌の種類を増やしてほしい。
- ・長町駅周辺は病院も多いので、医学書がもう少しあってもいいと思う（太白図書館）。
- ・ジャンルを幅広くしてもらえるとより一層楽しめると思う。
- ・新聞で紹介されている本なのにどこの図書館にも置いてないことがあるので、できるだけ置いていただけたらありがたい。
- ・太白図書館と榴岡図書館を利用しているが、書籍の数が少ない。
- ・左右の立場に関わらず、発行された書籍は市として1冊は所持すべき。購入書籍の選別に偏った考えは不要。
- ・新刊の入荷が早くて素晴らしいが、予約が多くてなかなか借りられない場合が多い。

- ・高額でなかなか手が出せない芸術書や写真集などをもっと置いてほしい。
- ・文庫本などが新しくなり気持ちよく利用させていただいている。
- ・人気のある本はいつも貸出中になっているので、複数冊置いていただけると嬉しい。
- ・家庭で不用になった本を古紙にする前に図書館で回収と希望者に提供してほしい。貴重な書籍や資料が見つかることもあるかもしれないので。
- ・蔵書数を増やしていくための「戦略」も必要ではないか。「蔵書」の収集にあたっては各「図書館」にも特色を持たせ「特色ある図書館づくり」を目指していただきたい。

●本の情報提供

- ・おすすめのコーナーを充実させてほしい。特に小説は賞を取った本など紹介してもらえるとなじみのなかった人の本も手に取りやすい。
- ・新刊の本など、分かりやすく PR するコーナーがあると読みたい本を選びやすい。
- ・どこの図書館で、どんな本を購入したかを知らせる資料を PR 資料として希望者に提供してほしい。借りたい本がない場合でも、在庫ある図書館から取り寄せる方法をもっと簡単にしてほしい。
- ・感銘を受けた書籍・推薦する図書、本の紹介、解説をした小冊子を置いてほしい。
- ・どんな本が人気なのか、図書館職員のお勧めの本やランキングがあると面白いのではないか。
- ・本のリクエストの周知をしてほしい。リクエストのやり方・入荷までの流れを知りたい。
- ・宮城野図書館には地元史中心のコーナーがあり、私は興味を持った。各図書館にもスペースなどの制約はあろうと思うが、その図書館特有な図書のコーナーを設置されるのもよいと思う。
- ・子どもが小さい時は移動図書館を利用した。そのときのイメージでは、なかなか読みたい本がないというのが正直なところだった。時代に沿ったサービスが求められるのではないか。
- ・限られた財源の中で、ライブラリとしての機能は充分だと思う。「ライブラリとしての機能」という意味では、「ユーザ側において調べたい読みたい内容が明確である場合にそれに答える機能」という意味だ。これからは、市民の知的レベル・活動レベルを上げるために「こういう人にはこの本がオススメ」といった積極的な発信を強化するべきだと思う。例えば、「起業を考える人には」「思春期のカベにぶち当たったとき読むべき本」とか。各図書館にいる方が持っているスキルでは、もちろん単発ではだめで、継続性が必要だが、コスト不要で市サービスの差別化にもなると考える。具現化の方法としては図書館内のコーナーづくりや、ウェブでのリコメンドコーナー設置など。
- ・無い本の購入リクエストができるとうれしい。

●視聴覚資料

- ・CD・DVD の充実を図ってほしい。
- ・CD・DVD など古いものが多く、新作が少なすぎると思う。
- ・DVD（外国映画など）増やしてほしい。

【図書館サービスについて】

●貸出・返却・相談

- ・仙台市図書館の利用対象者は、仙台市内だけでなく仙台都市圏 13 市町村在住の人達も対象にしているため、調べたい資料や書籍がある場合は、仙台都市圏 13 市町村で運営している図書館も対象にしてほしい。

- ・ CD・DVD の貸出点数を増やしてほしい。
- ・ 移動図書館でも、インターネットで本の予約や貸出延長ができるようになると便利になると思う。
- ・ 難しいかもしれませんが、必要な時に必要な本や資料等が使える・借りられると嬉しい。
- ・ 借りるときも返却も郵送でのやりとりができたならありがたい。
- ・ 利用者カードの有効期間を3年から5年に延長してほしい。
- ・ 調べものに対して、支援体制の強化を期待したい。できれば「ワンストップ」で完了することが理想。
- ・ 返却ボックスは書籍のみなので、CD・DVD も閉館時に返却できるシステムがあると良い。
- ・ 有料でも図書館に行けなくても貸し出し返却できるようになるとよい。

●電子書籍

- ・ 仕事で忙しい人でも手軽に利用できるように、電子書籍などを使って図書館を身近に利用できるようにしてほしい。
- ・ 電子書籍も、外出が難しい人にとっては便利なツールだが、本を選ぶ→読む、という楽しみをこれからも図書館に期待している。
- ・ 私もそうなのだが、図書館を利用したいと思っても時間がなくてなかなか利用できない人もいると思う。電子書籍等が増えていけば、利用者も増えると思うので積極的に導入してほしい。
- ・ いわゆる「電子図書」を取り入れてみてはどうか。メリットとしては期限がきたら読めなくなるようにできる（返却遅れが発生しない）。本の破れ紛失等がなくなる…。などが予想される。コロナ禍の中、衛生面という意味でも本のデジタル化は進めていくことのメリットは多い。（蔵書の減少⇒図書館という「ハコ」のスリム化&人員削減にもつながる）
- ・ 今後は電子書籍の期待が高まってくると思うので検討を期待している。
- ・ 新しい生活様式が要求される時代に、図書館の電子書籍サービスの充実が必要だと思う。クリアすべき段階はたくさんあると思うが、今こそチャンスだと思う。インフラと同時に、告知、啓蒙も必要。
- ・ 「電子書籍の充実化」に期待したい。難しいとは思いますが、コロナ禍等で来館できない時にも情報収集に役立つと思う。
- ・ 現役世代はスマホを使っているので、ある時期から移動図書館をやめて電子書籍に切り替えるのも良いと思う。建物の建て替え、車両の更新は重荷でしかないはずだ。
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止の観点からも電子書籍を充実させて、来館しなくても家にいながら読書体験を得られることが今後必要と感じる。
- ・ 閉架書籍を電子化して市民が閲覧できるようにして頂きたい。
- ・ 電子書籍で小説を読みたいとは思わないが、雑誌なら借りたり返したりが楽で良いと思う。20代の娘は自分の端末で電子書籍が借りられるなら、ぜひ利用したいとのこと。図書館は子ども連れの家族や中高年の利用者が多いので、もっと若い人にアピールしてほしい。

●子ども向けサービス

- ・ 子どもが生まれて、おはなし会に参加させてもらった。今の状況だと難しいと思うが開催する回数を増やしてほしい。家で持っている本では飽きてしまっているの、図書館でいつもと違う本を読むと子どもも嬉しそうだし、私の読み聞かせの勉強になった。
- ・ 子どもが騒いで他人に迷惑がかかると思い、なかなか図書館まで足を運ぶこともなくなった。例えば、何曜日の〇時から〇時までには子どもメインの時間で多少騒がしくてもOKなどとしてもらえる気兼ね

ねなく行けそうな気がする。「問 10」のサービスをほとんど知らなかったので、市民にもっと周知すれば、利用者は増えると思う。

- ・子どもに本をたくさん読んでほしいと思っているので、学年や月齢に合った本をまとめてほしい。学校から読書を勧められる本は借りられるようにしてほしい。子どもが幼稚園に入る前には手遊びと読み聞かせのイベントに時々参加していたが、回数を増やして気軽に出かけて参加できるようにしたほうがよい。子どもが本を読む場所も少ないので、声を出して本を読んであげたり、多少のお話をしながら楽しく本を読める場所をもっと作ってほしい。
- ・歩いて30分で行ける距離にあっても、小さい子どもがいると容易に行けない。子どもが本に触れあう機会を増やすためには、その親へのアプローチが重要だと思う。

●情報発信

- ・本に関連した催しを開催する際に、情報発信を強化してほしい。図書館に足を運べないときでも、メーリングリストなどでほしい情報が届くと助かる。(久しぶりに図書館に行くと、このイベントに参加したかったなあ、と後から知ることが多いので…)
- ・移動図書館のあるのはよいことだ。図書館に足を運べない方や子どもたちに便利。移動図書館の巡回日程表や積み込む新書の紹介などの情報は広報誌などに掲載はできないものか。
- ・インターネットで予約ができることをこのアンケートで初めて知ったので他の情報も市政だよりなどに改めて載せたがよいと思う。
- ・SNS(Facebook や LINE 等)で、本の紹介や、講座などのお知らせを発信したらよいのではないか。
- ・情報、文化の発信場所としての活動を増やしてもらいたい。
- ・市政だより等に新刊の告知・PR と図書館運営(場所・時間等)について掲載してはどうか。

●図書館サービスのその他

- ・働いている人のために金曜日の夜間営業を考えてみてほしい。夜の19時から20時までの営業を検討してみてはどうか。
- ・仕事帰りでも寄って少し選べる時間がほしいので、もう少し閉館時間を遅くしてほしい。
- ・平日の閉館時間を遅く、仕事帰りの利用もできるようにしてもらいたい。
- ・営業時間や場所の都合により、利用したいが利用できていないのが現状。また、イベントも平日日中が多く、参加できない。図書館を増やすことが難しい場合は、平日日中の移動図書館だけではなく、平日夜や土日も受け渡しができる場所(例えばスーパー等でも構わない)を検討いただきたい。勉強したり読み物を読んだり、幅広い世代で利用しやすい環境をつくっていただけるとありがたい。今は、一部の利用者のみ利用している印象だ。
- ・普段手に取らないジャンルの本と出会える場所、子ども達にとって読書の良さが分かる場所であってほしいと思う。このアンケートを通じてさまざまな取り組みを知ったが、特に移動図書館のアイデアはなるほどと感じた。個人的には電子書籍が便利で気に入っているが、利用環境下にいない人もいるかもしれないし、さまざまな人(特に子ども達)に図書サービスが行き渡るといいなと思う。
- ・雑誌の処分セール。
- ・財源が限られている中で、あまりサービスを拡充する必要はないように思う。私自身は図書館の近くに住んでおり今のままで何の不満も持っていない。
- ・図書館をあまり利用しないが、不特定多数の人が集まったり、貸出、返却したりするような図書館とい

うのは、このような時世でなおさら利用しづらい状況にあると思う。電子書籍の普及や、時間に余裕がない等で図書館自体に関心がない人も多いのではないか。市の限りある予算や時間を費やし、新しい取り組みやサービスを進めるよりも、このまま現状を維持する方が今は良いのではないか。現状のままでも利用する人はすると思うし、よほどの利便性がない限り、利用しない人はこの先も利用しないと思う。

【施設・設備について】

●図書館内の設備

- ・図書館とカフェが融合した施設が仙台にも出来たら良いと思う（多賀城市立図書館のような）。
- ・スタディールームのようなものを年代別に設置してほしい。
- ・図書館以外に返却ボックスを設置していただきたい（例えば仙台駅等）。
- ・市民の憩いの広場として休息用などの椅子等を足してほしいと思う。また、館内で軽食、お茶ができるとより良いと思う。館内の雰囲気は好き。
- ・本を借りたり調べ物をしたり、DVDは視聴したりだけでなく、憩いの場、休息の場として、喫茶コーナー等があってはどうか。食べ物は禁止しても飲み物くらいはどうか。
- ・勉強ができる半個室（ついたてや、プライバシーが保たれる空間）。勉強をする場所ではないと思うが、図書館は集中しやすい。
- ・紙だからアルコール除菌は難しいと思いますが不特定多数の人がさわる本の消毒ができたらいと思う。
- ・小学生ぐらいからの子どもたちが自主学习できるようなのびのびとした図書館づくりを。
- ・Wi-Fiを取り入れてほしい。
- ・文学館の絵本コーナーのような場所は落ち着けるので、あのような場所があるといいと思う。
- ・県立図書館がすぐ近くにあるため市図書館を利用したことがないが、ゆったりとコーヒーが飲めたり、ランチができる場所があったらよいと思う。
- ・図書館の机に載せられないものを入れるロッカーやケースの設置。
- ・以前は館内視聴を利用していたが、画面までの距離が近く周りも明るいので疲れる。改善できなければ廃止しても良いのでは？
- ・市内の本屋が少なくなり図書館内に本の売店等があったら手軽に買い求める方々も。

●ゆったり過ごせる場

- ・図書館を利用するにあたり、仕事をしている現在は、若い頃の学生時代のように、日一日をほとんど図書館で本を読んだり、調べものをしたりという時間に、費やすことができない。社会人として、図書館に望むことは、ゆったり過ごせる空間であってほしいことである。飲食もとれる空間があり、短い休日を、濃い休日として過ごせる場であるということである。
- ・私は本が好きな人間だ。図書館にもふらっと行くことはあるが、たまたまなのか、ゆっくりできそうな席が見つからなかったりして、頻繁に行くことはない。最も難しいことかとは思いますが、心からゆったりとくつろげる環境があったらとてもありがたいと思う。
- ・仙台市の人口が多いためか、図書館を利用する人が多い。それ自体は良いことだが、地方の図書館のようにゆったりと図書館でくつろげるような広さがあればよいと思う。

- ・コロナの影響が薄れたら、読み聞かせなど小さな子どもたちの集まる場として、地域の交流の場としてゆったり過ごせる所になってほしい。

●移動図書館・分室・サービススポット等

- ・移動図書館の巡回場所が増えると嬉しい。
- ・移動図書館を利用したいが近くに来ないため市営住宅の近くにも来てほしい。
- ・市民センター内に分室を設置しているのは知っていたが、今まで利用したことがなかった。図書館より近いのでこれから利用したい。
- ・泉区の場合は、各市民センターが図書館の「分室」としてネットワークに入っているが、他の地区は手つかずの状況。合併から30年以上経過しているので早期に泉区と他区とのサービスの違いをどのようにして改善していくかといった計画の見直しが必要と思う。
- ・泉区は分室も多く満足しているが、各図書館で発行している新着図書案内がない。是非毎月分分室にも届けてもらいたい。分室は近くて便利だが、検索性パソコンがなく、1台だけでも配備してほしい。
- ・区役所などで図書館サービスを利用できるとよいと思う。
- ・図書館が家から離れており、移動図書館は近くに来るが行けない時間帯なので、分室をもっと増やしてほしい。
- ・市内7カ所の図書館では高齢の方など、交通手段などの難しさもあると思う。徒歩圏内に利用できる図書館（規模は小さくても良い）があると、便利だと思う。
- ・現在子育てをされていて子どもは絵本が好きで図書館へ連れていきたいが、騒いだり走ったりしてしまう心配あり、サービススポットがもう少し身近にあるとよいと感じた。また月齢に合った絵本の紹介等もあるととても助かる。
- ・子どもの読書離れや電子書籍普及の状況下での図書館運営は大変な苦勞と思う。添付資料の「1日当たりの平均利用者数」をどう分析してよいかわからないところもあるが、限りある財源ということを考えればサービススポットや移動図書館の利用状況は、運営のあり方を考えてみる余地はある。
- ・現在の「移動図書館」を大幅に見直すべきだ。「移動図書館」「分室」「サービススポット」の存在がよく分からない。これらは①いつから②どのような設定基準でつくったか③書籍の選定④どのような読書調査をしているか⑤当初の設定から、どのような見直し、どのような市民の要望受け入れをしたか、これらの回答を求めたい。地下鉄東西線の新設などで、市民の足の移動、集積人口も大きく変わっている。
- ・財政的に苦しいと思うが、一点集中で仙台駅周辺の空きビル等に子ども専用の図書館又は図書室を作ったらどうか。駅周辺の買い物のついでや、バス・電車の待ち時間の合間など、多くの子育て世代の方々に利用して頂けると思う。
- ・図書館まで少し距離があるため、夏休みや春休みに親子で利用する事が多い。徒歩圏内にサービススポットがあれば、もっと利用する頻度が上がると思う。
- ・市民センターなど高齢者が行ける距離にあると便利。
- ・分館を増やしてほしい。
- ・無料駐車場完備のサービススポットを増やしてほしい、もしくは、駐車場30分まで無料にしてほしい。子連れで図書館を利用する際は、本が重いこともあり、車で行きたいが、駐車場代が高く、頻繁に行けないでいる。

- ・各区に泉区並みの分室数を確保してほしい。

●返却ポスト

- ・借りた本はどこか図書館へも返却できるが、図書館が公共交通機関の駅などから少し離れた場所にある場合が多く、返却するのが億劫になることがある。地下鉄の駅や仙台駅の中などに返却ボックスがあるといいと思う。そうすれば借りる人も多くなるのではないか。
- ・子どもが小さい頃から絵本を借りたり、利用させていただいているが、家から図書館に行くには交通の便が悪くなく、毎週きちんと返せるかヒヤヒヤしていたので、近くに返却スポット等ができれば本当に便利だと思った。

●施設・設備のその他

- ・榴岡図書館は狭く、ゆっくり本を選べないので、もっと広いスペースを確保してほしい。
- ・新しい時代に敏感な「図書館」になってほしい。(新しい時代や潮流の情報の収集、提供など)
- ・駐車場の利用が不便なため、宮城県図書館のような簡単に止められる施設を利用している。無料だと利用しやすい。
- ・多賀城市立図書館のように、利用したら2時間無料の駐車券をサービスしてほしい。
- ・広い駐車場の完備。
- ・若林図書館は建物やスタッフの全体的な雰囲気がよく、居心地がよいと思うが、太白図書館は居心地が悪い。一人で本を読む場所の配置や、高校生などが勉強をしている机の位置を改善してほしい。
- ・開館時間が9:30からとなって、さらに利用しやすくなった。

【イベントの開催について】

- ・子どもが生まれ親の立場になり、やはり、絵本や児童文学にも興味を持ってほしい。絵本の読み聞かせや紙芝居等もっとやってほしい。(機会があればぜひボランティアでもしてみたい)
- ・絵本の読み聞かせをしてもらいに行きたいと思うがコロナ禍ではなかなか足を運ぶには重い。オンライン…とも思ったが、子どもにパソコンを見せるより、やはり対面やたくさん子どもたちにふれあってほしいと思う。大きな公園で紙芝居や読み聞かせをしてほしい。催し物は外でお願いしたい。
- ・小中学生対象として仙台の歴史を書物、本、等を調べて知識を深めるワークショップ等。歴史上の人物、1カ月等、期間を決めて1人の人物にスポットを当て、展示コーナーがあったらおもしろいと思う。
- ・必ずしも市の企画でなくても民間、個人の企画を募っても良いと思う。
- ・各区の図書館特長(特色)を生かしている。以前宮城野図書館は夜の図書館と称してボランティア講座を設け、大変好評だった。
- ・本の福袋をぜひもっと企画してほしい。コロナ禍の中のため、行事の開催はあまり求めないが、子育て中のママが子どもと一緒に参加できる行事などもお願いしたい。
- ・数年前、子どもがイベントで図書館の書庫や事務所などを巡るミニツアーのようなものに参加した。普段は入れない場所を見ることができ、大変喜んでいだし、本に関心を持つきっかけの一つになった。
- ・以前、太白図書館で図書館のバックヤード(裏側)の見学会をしていたが、また開催してほしい。図書館がどのようになっているのか子どもがとても興味を持っていた。
- ・かなり前のことだが、図書館の本に対しての迷惑行為について展示されていた(若林図書館だと記憶している)。本にラインをひいたり、美術の本を切り取ったりなど、こんなことをする人がいることにび

っくりした記憶がある。図書館の現状の問題を知るうえでとてもよい展示だった。

- ・実施したイベントについては、配布資料やイベント内容が分かるものを報告書としてまとめ、ホームページ等で情報提供をしてもらいたい。(過去の「イベント情報」リストをみて参加したかったものや、遠い図書館で実施することで参加できない場合など、参加案内(チラシ)のみではなく、実施報告書を作成いただければ、イベント趣旨の効果がさらに増進し、図書館の施策推進にも寄与すると思う。特に地域農業の講座や講演に係るものなど、情報提供することで市民に役立つと思われるもの)。情報提供可能なものから順次実施、拡充していただきたい。
- ・幅広い年齢層の方々にたくさん利用していただきたいので、コロナの件もあり密集しないよう、土日だけでなく平日にも講座など開催していただきたい。
- ・新聞社とタイアップして、児童生徒に活字に親しむためのコラボ開催を企画してみてどうか。
- ・おはなし会など、小さい子どもを連れて行って良いという広報活動を、今以上にいただければ、小さい子を保育している、お母さんやお父さんがもっと利用できると思う。静かにしなければならないのでは?と思い、利用を控えている親が多くいると思う。また、図書館で、交流があることによって、孤立してしまう親が減少するのではと思う。
- ・中学生、高校生、大学生が本を読みたくなるイベントや企画をするべきだ。
- ・榴岡図書館主催の「本づくり教室」に参加したが、大人でも難しいところもあり、それだけに出来上がったときの喜びが大きかったので、大人向けの企画でまた”本づくり”も続けてほしい。

●希望するイベントテーマ等

- ・郷土の歴史と歴史上の人物の解説や講演 ・時事問題等の講演 ・市長のアナウンス教室
- ・利用者との懇談会 ・読み聞かせ(子どもだけでなく大人、若い人も対象) ・高齢者向けの朗読
- ・仙台在住の作家の講演会 ・震災地の語り部の講話 ・読書会 ・地区の集会等での読書感想会
- ・文章教室 ・ミニコンサート ・映画教室 ・市内の図書館巡り ・司書の裏事情
- ・インターネット関係の講座 ・他の社会教育施設との連携講座 ・子どもの図書館の仕事体験

【その他】

●読書活動推進

- ・若い人たちの図書館利用者が少ないように思う。手軽にパソコン、スマホなどから情報をもらうことができるからだろうか。本を借りたり返したり図書館まで行く時間を作ればいいが、難しいようだ。
- ・コロナウイルス感染症による自粛で、読書の習慣が戻った。この機会をマイナスではなくプラスに変えることを図書館が担っていければよい。伊坂幸太郎さんのような在仙の作家がもっと出て作品が映画化されて仙台のイメージがますます良くなる。そんな未来へ向かう人への支援なども期待したい。
- ・滅多に利用しないが、本を紙で読む文化はとても大切で、今コロナもあり難しいと思うが、読書の楽しさを広めてほしい。活字を読まなくなったら人生を深く考える事も無くなると思う。本や新聞をいつまでも紙で読める世の中であってほしい。
- ・児童向けコーナーや催しなど頑張っていると感じた。先日フィンランドの読書犬という存在を知った。こうした海外の取り組み等も参考にさまざまな取り組みをして頂けることに期待。

●他機関との連携

- ・小・中・高校にも独自の図書館があるので、それらの図書館と連携して、情報を提供して子どもたちの

利用増をはかることにより市図書館が有効活用されると思う。検討してほしい。

- ・蔵書数や施設の充実振りから、宮城県図書館を活用している。宮城県図書館との連携を各仙台市図書館に望む。
- ・宮城県の図書館との連携を求めたい。立派な図書館と聞くと、不便な場所にあるので、たとえ借りたとしても、返しに行くのが面倒。
- ・市民センターやコミセンにも多少の本コーナーはあるが、仙台市図書館と連携すれば、書籍や返却システムがもっと充実した内容になり、読書の習慣が増えると思う。
- ・徒歩圏に図書館がある生活をうらやましく思う。(私はバスで太白図書館、地下鉄で市民図書館へ。)市民センターの図書室は貧弱だ。交流できる場と市民センター在在所を考慮し図書館を統合してもよいのではないかと考える。また、いろいろ各種の情報は、スマートフォン、パソコン等で可能でもあり、読書としてすみからすみまで読むという人は少なくなっているかと推察する。時代も変化し歴史なども漫画化され昔と違って文学少女は少なくなっていると思う。市民センターを利用することも一考察と思う。

●職員について

- ・市で評判の悪い窓口の方に、図書館の(業務)対応を見てもらう等したら如何か。(市役所で市民が主に使う窓口の女性の方々の対応は、どこも親切で素晴らしい。)
- ・現在の図書館には、本当の意味での司書はいないようだ。高度な意識を持った司書を育てるべきだ。

●利用者のマナー

- ・図書館で貸し出す本に対して、マナーから逸脱するようなもの(落書きやページが切り取られなくなっている)等が散見される。マナー向上に向けての取り組みや、マナー違反にはペナルティが必要。
- ・利用者マナー向上に努める(視聴覚室では台の上に足を乗せ、しかも眠っている老人がいる。きちんと注意すべきだ。)
- ・新聞を広げている高齢の方が周りの人への配慮がなさすぎると思う(宮城野図書館)。

●新型コロナウイルス感染症対応

- ・コロナウイルスの感染防止対策を徹底してほしい。たくさんの方が本に触れるので、難しいかもしれないが、安心して利用できるようお願いしたい。
- ・貸し出す本など消毒済がはっきり目に見えるようにしてほしい。
- ・コロナの影響で、多数の人が利用する本が清潔なのか?と疑問を持ちながらも、やはり本を読みたいという気持ちが強く利用を続けている。具体的にどんな対策をしているのか館内に表示してほしい。
- ・主に若林図書館を利用しているが、どちらも広さがあるのに空気がこもっていると感じる。空気の入替えにもっと気を使ってほしい。
- ・コロナ渦において、さまざまな人たちが手に取る本を紫外線等の消毒をしていないことに驚きを禁じえない。体温のチェックもなく、誰がどのくらいの時間滞在しているかの管理もしてない。危機管理のなさに呆れる。
- ・現在イスとテーブルが片付けられてしおり、本を選ぶのに不便。一日も早く元通りにしてほしい。

●他市図書館について

- ・山梨県が、全国一読書量が多く、平均寿命や健康寿命が男女ともに長いと報道されていた。その理由は、大人が子どもと一緒に図書館を訪れた際、司書の方(ボランティアか非常勤か不明)が相談にのり、借

りたい本や CD (DVD) 等を紹介してくれるシステムになっているとのこと。交通手段等アクセスもあると思うが、図書館側の受け入れ対応等を検討していただきたい。

- ・名取図書館を併用しており、本のきれいさ、設備の新しさが違うなど感じている。
- ・仙台市ではないが一番最近利用したのは多賀城図書館の山王分室。家から近いという理由でそちらを利用した。移動図書館は近所に来ているがタイミングを合わせるのが難しく、利用したことは無いが今度、利用してみようと思う。
- ・宮崎県都城市立図書館のような、それぞれの世代が集まりやすいコミュニティの場としてのありようもあっていいのではないか。従来の図書館のイメージと異なり、難しいところもあるかもしれないが、今後の図書館運営のヒントが詰まっていると思う。市図書館も、仙台スタイルが確立できるといい。
- ・多賀城図書館が大好きで、月に2回通っている。親子ともに興味のある本がたくさんあり、毎回満足している。仙台市内の図書館は、借りたいと思うものがなく、すぐに行かなくなってしまった。多賀城市立図書館のような施設であれば、多少遠くても通いたい。

●図書館へ望むことなど

- ・図書館はとてありがたく、なくてはならない所。これからも大いに利用していきたい。
- ・地域の文化発信・発着としての図書館の役割と期待は大きい。
- ・いつも利用していて私としては身近な場所の一つ。これからも世代・人種が関係なく本を楽しめる場所として提供し続けてほしい。
- ・まずは利用できる環境づくりが大切。実際に図書館に行くより、私の場合、買ってしまふ傾向にある。1つには宝物(文庫)にしたいという気持ちがいまだ強い。また、聞きにくいというイメージがある。以前に比べ出づらいということも年々しかたがないことだが。
- ・全ての年代の方が利用でき、心地よいと感じる空間が、図書館であればとても嬉しい。予算についての愚痴は、聴きたくない。どんな職種の、どんな仕事も限りある中で知恵を絞ってより良いサービスを提供しようとしている人たちが、いるのだから。アイデアがないなら、市民に聞いてほしい。使う私達も、図書館に試されている、そんな思いでこれからの施策に期待している。
- ・私は音訳をしているが、まだまだ利用者も読み手も少ないと思う。勉強していない方ほどやりたがる傾向にある。質の向上を図るような対策が必要だと思う。
- ・図書館への交通手段(バス)がなくなって、かなり遠い停留所からで歩行辛い。視野を広く深くして図書館行政を考えてもらいたい。
- ・太白区より若林区に転居。若林図書館が歩いて15分の場にあり、私にとって図書館はかけがえのない存在となった。年金生活者にとり、新刊書を予約することにより読めることは最高。気軽に行ける図書館は私の気持ちの拠り所。
- ・図書館で学生のアルバイトを雇ってほしい。
- ・新しい図書館、休日のお楽しみのスポットとして当たり前になれば良い。
- ・宮城交通の往復の運賃が高いので、太白図書館に行くのは難しい。1人月1回、宮城交通バス半額補助券みたいなサービスがあれば、借りに行きたい。
- ・図書館に行くと、自分が今まで読んだことのない作者さんの本を知れるのが魅力。
- ・本を読むのが好きなので、なかなか行けないが、図書館を今後もっと利用したい。

今回のアンケート調査により、市民の皆さんの図書館に関する意識について、貴重なご意見やデータを得ることができました。今後の図書館運営に生かしてまいります。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

仙台市教育局市民図書館

電話：022-261-1586 FAX：022-213-3524